

## 【都筑区】令和4年第3回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和4年8月31日(水) 9時55分～11時20分
場 所	都筑区役所6階 大会議室
出席者	<p>【座 長】 斎藤真二 議員</p> <p>【議 員：4名】 草間剛 議員、長谷川琢磨 議員、藤居芳明 議員、望月高德 議員</p> <p>【都筑区：31名】 佐藤友也 区長、戸倉隆一 副区長、深澤義一 災害対策担当部長（都筑消防署長）、林千賀 福祉保健センター長、繁野芳彰 福祉保健センター担当部長、谷津毅 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和3年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について</li> <li>2 令和4年度 都筑区自主企画事業の執行状況について</li> <li>3 令和5年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方について(案)</li> </ol>
発 言 の 要 旨	<p>【令和3年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について】</p> <p>望月議員：令和3年度の決算では、自主企画事業費が500万円弱の予算・決算の差があるが、これの扱いはどうなるのか。</p> <p>佐藤総務課長：区づくり推進費は市民局の予算であるため、市民局内での調整となる。</p> <p>【街のにぎわいづくり事業について】</p> <p>草間議員：令和4年度の区民まつりについて、センター南駅及び都筑区総合庁舎周辺で開催とは、どのようなイメージか。</p> <p>倉田地域振興課長：近年の区民まつりは、センター南会場、センター北会場、みなきたウォークの3会場で展開していたが、今回は従来のセンター南会場の範囲、具体的には駅から砂の広場方面及び駅から都筑区総合庁舎正面入口前をエリアとして考えている。</p> <p>草間議員：センター北エリアについては、今後どのようになるか。</p> <p>倉田地域振興課長：都筑区ふるさとづくり委員会区民まつりあり方検討分</p>

科会において、コロナを踏まえた、今後の持続可能な区民まつりについて話し合いを行った。財政的に持続可能でない区民まつりになっていることや民間のまつりも非常に盛んであること、さらに、センター北ではドイツクリスマスマーケットを実施していること等から総合的に勘案して、当面の間はセンター南駅周辺エリアのみで開催するとの方針が出された。

草間議員：区の個性が現れる区民まつりを縮小する方向性で本当に良いのか。

倉田地域振興課長：ふるさとづくり委員会総会においても、財政的に持続可能な形で、区民の手づくりにより区民同士の交流の場を提供できるよう、方向性が確認されている。エリアは縮小する形となるが、より区民の交流の場となるよう盛り上げていきたい。

草間議員：ドイツクリスマスマーケットについて、過去に予算が削減されたが、今後どのようになるか。

倉田地域振興課長：令和4年度は12月の土・日の2日間とオンラインによりほぼ1か月間の開催を企画している。今後も実行委員会の意思の下、都筑区のメインイベントの1つとして継続していく予定である。

草間議員：区民の皆様にも丁寧に説明して行ってほしい。

#### 【都筑 国際交流プログラムについて】

草間議員：都筑区とボツワナの交流は令和5年に10周年を迎える。10周年に向けて考えていることはあるか。

倉田地域振興課長：10周年の節目を盛り上げていきたいと思っている。茅ヶ崎小学校とボツワナのベン・テマ小学校は絵画交流をしているが、ローカルとローカルが繋がる取り組みは珍しく、大使にも高く評価されている。オンラインや動画による交流、市庁舎における絵画展示など展開していきたいと検討している。

草間議員：今は絵画交流しかなく、それ以上の発展性がない。次の一手を考えてほしい。

#### 【デジタル化推進事業について】

望月議員：区役所のオンライン化やデジタル化の進捗について伺いたい。

佐藤総務課長：来庁者の方向けの無線Wi-Fiを8月に整備した。

藤居議員：区役所のペーパーレス化やWEB会議の実施状況について伺いたい。また、区民の方がデジタル化社会により良くなったと感じられるように進めていく必要があると思うが、状況を知りたい。

佐藤総務課長：区としてもペーパーレスを推進しており、13の所属のうち8課において、ほとんどの会議をペーパーレスで実施している。所属によってはペーパーレスが難しい部署もあるが、区役所の部課長会などはペーパーレスで実施している。また、WEB会議については、令和3年度には804回、4年度は4月から7月までで260回実施した。今後も一層進めていきたい。さらに、デジタル化については「横浜DX戦略」に沿って進め、区民の方のためになるようにしていきたい。

#### **【まちづくり総合調整事業について】**

望月議員：都筑区民文化センターニュースについて、今後の発行内容について伺いたい。

黒澤区政推進課長：今回は10月に発行を予定しているが、工事の進捗状況についての報告のほか、区民の皆様によりわかりやすく、今後どのような街になっていくのか将来図を共有できるニュースを発行していきたい。

望月議員：決まったことの報告だけでなく、できるだけ区民の意見を取り入れ、完成した際に喜ばれるよう進めてほしい。

#### **【都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業について】**

長谷川議員：第4期地域福祉保健計画を推進していく中で、コロナ渦における課題認識や対策を伺いたい。

室山福祉保健課長：地域の方が集まりにくい状況が続いている。地域の方の声を区役所が聴き、活動できている地区の工夫を他の地区へ伝える活動を考えている。地域の方は顔の見える関係や見守りの関係を作っているなので、大切に伝えていきたいと思う。

長谷川議員：成功事例や危惧される事項などを情報として提供し、区役所がやり方を導いてほしい。

**【妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業について】**

望月議員：児童虐待防止啓発地域連携事業など、今後もしっかりとやってほしい。児童虐待については、区の特徴はあるか。

安藤こども家庭支援課長：他区と同様に虐待の対応件数は増加していて、同じくらいの規模感である。

望月議員：対応は大変難しいと思うが、取り返しがつかない事案が起こらないよう、改善できることはないかなど考えてほしい。対応する職員の不足はないのか。

安藤こども家庭支援課長：令和4年度から、都筑区はこども家庭総合支援拠点を設置し体制を充実させ、児童虐待の対応をしている。職員の虐待に対する受け止め方を磨くことについても対応していきたい。

**【災害にそなえる自助・共助の推進事業について】**

草間議員：ペット飼育者全員が避難所にペットと同行避難するのは困難である。10年ほどの議論を重ねて、人については在宅避難が周知されるようになったが、ペットについても同様に進めていくべきではないか。

河野生活衛生課長：災害発生時の時間帯やペットの種類、自宅の周辺環境等から、どのように飼い主とペットの安全を確保するか講演会の開催や啓発等をしている。必ずしも避難所に避難することが方法ではないという観点を強調しながら、それぞれ一人ひとりにあった避難対策を考えてもらう取り組みを進めていく。

草間議員：川を抱える都筑区では、万が一川が氾濫してしまった際にどう対応するかあらかじめの想定が必要であると思うが、区長の考えを伺いたい。

佐藤区長：現在も避難所に同行避難される方のためにケージ等を備えるなど受け入れの準備をしている。まずは、区民の皆さんに適切な行動を正しく理解していただくのが非常に重要であるため、啓発に十分力を入れていきたい。

望月議員：災害時要援護者支援事業において、災害時要援護者名簿の提供をしている地区について資料提供してほしい。

室山福祉保健課長：承知した。

**【安全・安心なまちづくり事業／ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業について】**

望月議員：スクールゾーン自体が危険な場合もあるが、具体的な改善はできないのか。

倉田地域振興課長：各学校と意見交換を通じてきちんと吸い上げて、土木事務所、警察と必要があればそれ以外の関係部署と共有して、具体化させるようにしていきたい。

望月議員：自転車専用帯のルールについて、区民によく理解されていないように思うが、考えを伺いたい。

長嶋都筑土木事務所副所長：自転車が通行する位置や押し歩きする場所について徹底されていないため、今後の周知の方法を検討していく。

望月議員：交通安全は重要で命にかかわることなので、なお一層充実させてほしい。

**【令和5年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方について（案）】**

草間議員：横浜 DX 戦略についても、デジタル化とはまた別の視点で進めてほしい。また、区づくり推進横浜市会議員会議についてもペーパーレスで実施できるのではないか。

佐藤総務課長：統一的な指示がないため、従来通り進めているところである。

草間議員：区役所職員のテレワーク環境は整ってきたと思うが、携帯電話についての整備も進めるべきではないか。

佐藤区長：テレワークについては、各所属に端末を配置し進めている。電話については、固定費として継続的に計上される部分でもあるため、今後局とよく相談しながら、必要な携帯電話について配備していきたい。

倉田地域振興課長：地域振興課の業務は、地域の方との連絡手段として電話が必要であるため、9月1日より課で携帯電話を2台用意し、運用する。今後、区内に情報共有し、その後の動きに繋がっていききたい。

望月議員：区民目線で行政サービスの変革に取り組むとあるが、具体的にはどのようなことか伺いたい。

	<p>佐藤総務課長：横浜 DX 戦略を踏まえながら、日々区民の方と接する中で 小さなことから変えていけるようなことを意識しながら取り 組みたいと思う。</p> <p>藤居議員：子育てについて地域の声を聴ける環境づくりや予算確保を要望 したい。</p>
備 考	なし